

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	九州龍谷短期大学			設置者名	学校法人 佐賀龍谷学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成25年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
	保育学科	75人	幼二種免	昭和37年度	49人	45人	45人	15人
入学定員合計		75人	合計		49人	45人	45人	15人
備考	<p>・「学部・学科等の名称等」欄は、平成26年4月1日現在の名称・定員である。</p> <p>・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。</p>							

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成26年11月11日（火）

実地視察大学：九州龍谷短期大学

実地視察委員：宮崎英憲委員、佐々祐之委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等については、おおむね問題無く実施されている。
- 教育課程について、「2.」で指摘するように、教育職員免許法施行規則及び教職課程認定基準等の観点から是正すべき点が確認されたため、その点については、速やかに是正すること。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 建学の精神である仏教精神に基づいた教員養成に対する理念・構想を示しているが、それを具現化するための教職課程に対する全学的な組織、教育課程及び教員組織をより一層充実させるように努めていただきたい。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 教育実習で必要とされる能力が身に付けられるように、授業科目の開設時期を見直すこと。
- 「教職に関する科目」について、教育職員免許法施行規則第6条第1項に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か、シラバスからは判断できない授業科目や、科目の趣旨に照らして適切でないと思われる授業科目があるため、法令で扱うこととしている内容は必ず扱うとともに、科目の趣旨に照らして適切な授業内容となるように、内容を再度検討すること。なお、シラバスの記載内容及び記載方針を定め、法令の定める「含めることが必要な事項」が取り扱われているかどうかをシラバスの授業計画から確認できるようにすること。
- 「保育内容の指導法」に関する授業科目において、テキスト又は参考資料に幼稚園教育要領を定めること。
- 「教科に関する科目」として位置づけられている授業科目のうち、科目名称からは小学校の教科を前提としているものであることが見受けられない他、「保育内容の指導法」として実施すべき内容を教授していると思受けられる授業科目があった。「教科に関する科目」、「教職に関する科目」のそれぞれにおいて取り扱うべき内容は異なるため、授業内容を確認の上、必要があれば適切な科目区分に位置づけを変更すること。

- 「ピアノA~D」について、楽典のみの記載とならないよう授業計画を見直すこと。また、「ピアノB」において、容易に単位修得できるかのような記載があり、不適切であるため評価方法を見直すこと。

3. 教育実習の取組状況

- 教育実習の受講資格について、教職課程に配置された科目の履修が定められていない。各授業科目の履修時期及び教育実習の受講資格を見直すこと。
- 教育実習を基礎実習と本実習に分けて実施しており、基礎実習については5つの園と連携をしながら進めていることが確認された。一方で、本実習については、学生の自己開拓に委ねているため、大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、遠隔地の学校や学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の学校において実習校を確保することが望ましい。また、自己開拓ができない学生、県外で実習を行いたい学生に対しての支援体制の整備に努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 教職課程を含めた各種資格の実習のための実習委員会で、学生への教職指導をしていることが確認された。今後、実習園と大学との関係を充実させられるよう、事前事後指導などの関わりの中で、大学の財産として活用できるような仕組みを整えていただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 積極的な教育委員会との連携が見受けられなかった。幼保連携、幼小連携などの観点からも、附属との連携以外で学校現場等での体験機会を得ることができるよう、今後、地元教育委員会・学校との連携・協働に努めていただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 施設については整備・充実している状況が確認された。
- 教職関連図書・雑誌については、おおむね整備されていた。教職を志す学生が教育に関する最新の情報を入手できるよう、幼稚園教育要領、解説及び絵本等、図書環境の充実に引き続き努めていただきたい。

7. その他特記事項

- 卒業後の支援を含めたキャリア支援について、様々な情報を学生に発信できる仕組みを検討していただきたい。